

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和5年12月18日 第45号



社会見学に出かけました。(5年生)

15日(金)午前中、5年生は四日市公害と環境未来館(そらんぼ四日市)へ社会見学に出かけました。最初に「四日市公害を乗り越えて」というガイダンス映像を見ました。職員の方から、「これからの未来は環境がどうなっていくか?」といった質問がありました。家を建てたり森林を伐採したりして自然が破壊されていくため、環境が悪くなると答えた子が多かったですが、科学が進歩し、空気が良くなる機器が作られ、環境が良くなると答えている子もいました。その後語り部さんから四日市公害についてのお話を聞きました。コンビナートが国の産業政策の中で作られていったことやぜんそくの症状が出て、呼吸がうまくできず、苦しんだ人がたくさんいたことを教えていただきました。当時、コンビナート近くに住んでいた小学生の様子や四日市公害を裁判に訴えた人たちの話も伝えていただきました。語り部さんから「子どもの頃から夢を持つことが大切」という言葉もあり、子どもたちには強く印象に残ったようでした。子どもたちからは「四日市公害によって差別はあったのか?」「裁判に訴えなかったらどうなっていたのか?」といった質問が出されました。四日市公害で、「国に対しておかしい」と声を上げていった人たちがいたからこそ今の四日市があるし、他のコンビナートがある地域でも、四日市に続いて声を上げる人が出てきたんだ、といった話もしていただきました。



見学の最後に、環境未来館へと移動をし、展示見学をしました。モニター映像やミニシアターがあって、ボタンを押しては興味のある映像を選んで見ている子がいました。現在の大気汚染濃度についても、解説員の方に四日市市の実際の測定値を教えていただき、興味を持って学んでいる子がいました。自分の思っていることを、解説員の方に積極的に質問している子たちもたくさんいました。

自分から興味・関心を持って質問をしていくことは、学習を深める上で、とても大切なことです。本日は滞在時間が短く、十分に時間を取って見学を見て回ることができませんでしたが、また、時間を見つけて保護者の方に連れてきてもらい、いろいろな視点から展示を見て回るのもいいと思いました。

創立150周年に向けた準備会議が行われました。

15日(金)夜、地域の皆様にお集まりいただき、本校の創立150周年に向けた準備会議を行いました。水沢小学校は、2025年(令和7年)12月4日に創立150周年を迎えます。創立100周年時には「教育百年」という記念石碑が体育館南側に設置をされ、「百周年記念誌」も発行されています。



今回の会議では、「記念の時計台を設置してはどうだろう」「時計台に校歌を入れては」といった意見が出されました。「小学校に在籍していた頃の写真を集めよう」「地区文化祭の日に人が集まるから、その日に創立記念行事を合わせてやってはどうか」「前夜祭を入れ、みんなで楽しめるものをいれたらどうだろう」「一度子どもたちに、150周年に向けて学校に残したいもののアンケートを取ってみたら」等、たくさんの意見が出されました。



これらの意見を受け、記念行事は、2025年(令和7年)11月2日(日)に開催されることが決定しました。子どもたちには、3学期が始まったらすぐに、創立150周年に向け「どんなものが学校にあったらうれしいか」「記念行事にどんな風にかかわりたいか」をアンケートで聞いてみたいと考えています。

今年度の2月には、2回目の準備会議が開催され、少しずつ具体的に、ソフト面、ハード面の内容が決まっていきます。まだまだ2年先の話ですが、本校は卒業生も多く、早くから広報し周知をはかっていく必要があります。「どんなことができるのか」「どんなことをやったらいいのか」、皆様からいいアイデアがありましたら、水沢小学校校長または教頭まで、ご意見をお寄せいただけると幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。準備委員会のメンバーについても、今後、実労をお願いできる方を増やしていく予定でいます。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(文責 北住 昌文)